

# 株式会社SOCINNO(ソシノ)

## 事業の特徴・ポイント

- ・ICTを活用し豊かで快適な社会を実現する製品開発に取り組む
- ・リーズナブルで充実した機能を有する有益な製品開発に取り組む

## 事業概要

◎株式会社SOCINNOについては、<http://socinno.com/company/>

### 1.自らの技術やノウハウをもとに地方で起業

代表の山中氏はNTT西日本の研究開発職に就き、最新IT技術の研究開発を行うとともにシステム設計や方式検討に携わるほか、数百万人のユーザーを収容できるネットワークやサーバの開発・運用のノウハウを習得。それらの経験を活かし、かねてからの「ITで社会をより良くしたい」、「地方から日本を元気にしたい」という想いを実現すべく、2015年にATR((株)国際電気通信基礎技術研究所)やNICT((国研)情報通信研究機構)等との連携も見据えて、関西文化学術研究都市に隣接する京都府京田辺市で起業。自社製品の製造・販売に加え、ITを活用したシステム開発により、企業の業務効率化や改善をサポートする。

### 2.スマートリモコンで自宅を手軽にスマートホーム化

テレビやエアコン等、家電のリモコン信号を登録することで、AIスピーカとの連携により家電の音声制御を実現し、スマホでどこでも家電を制御できるスマートリモコン「sRemo-R」を2017年に開発、販売。自宅にある家電のリモコンを全て「sRemo-R」1台に集約することで複数リモコンの煩雑さを解消でき、料理等の作業中でも音声で家電を制御する。また、帰宅中や外出中にスマホで家電(エアコンなど)操作できるため、自宅を手軽にスマートホーム化することが可能となる。温度や湿度、照度情報がスマホアプリのグラフで1年分閲覧できるとともに、温度情報等により自動で家電制御やメール通知を行うことも可能である。例えば、30度を超えたらエアコンONなどの制御を自動で行うことや、外出中のペットや遠方の高齢者への見守りのため室温が30度を超えたらエアコン制御だけでなく、メールで通知することも可能である。自社製品のシェア拡大に向けて、マス向けだけでなく不動産関係や工場等の企業様への採用拡大を更に強化中だ。



### 3.教材開発・提供を通じたIT人材の育成

現在、IT人材の需要が高まる一方でその不足や都市部への偏在が課題となっていることから、若年期からITの知識を身に付けるための人材育成を行うため、新たな事業としてAIやIoTの学習キットの開発に取り組んでいる。中高生等にもわかりやすく、楽しく物作りを行い直感的にプログラミングやITの仕組みを学べるように工夫を重ねている。

### 4.地方のモデルケースの創出に向けて

人口減少や高齢化が進み地方衰退が社会問題となる中、地方の活性化は今後の日本全体の発展にも重要であるため、時間や場所にとらわれずいつでもどこでも利用可能なIT技術を活かし地域でも優秀なノウハウやスキルを持った人材が定着、活躍できる環境作りや、地域の企業や研究機関等と連携したビジネスモデルの構築を目指す。



## サービスのしくみ

### 【ユーザーの悩み】

家にはリモコンが複数存在し操作が煩雑(エアコン、テレビ等)

料理など作業中で手が離せない時に音声で家電を制御したい。

帰宅時に自動でライトをつけたり、帰宅中にエアコンをつけ、「ただいま」の一言でライトやテレビなど複数の家電を制御したい。



高齢者やペットが熱中症にならないか心配



### 【sRemo-Rサービスイメージ】

Google HomeなどのAIスピーカと連動して音声で家電操作

- ・スマホ操作で複数リモコンの煩雑さを解消。
- ・複数家電をボタン1つで操作(テレビとライトを1つのボタンでON)



温度、湿度、照度で家電制御やメール送信(30度を超えたらエアコンONやメール送信)

スマートフォンのGPS機能と連携して家電操作(帰宅するとライトONなど)

屋外からスマホで自宅の家電を制御



### 今後の事業展開について

「sRemo-R」はインターネット未接続環境でも利用可能になり企業内などのイントラネットや中小企業内でのリモコン自動化や効率化を図るとともに最新スマートホーム機能拡充を行い、さらなる市場拡大を図る。また、IT人材不足解消に向けてIoTやAIを学習できるキットを開発・販売し、中高生からIT人材のスキルアップまで、リーズナブルで楽しく物作りしながら学習できる有益な教材を提供していく。